

ページ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

5月から10月まで毎月、施設見学会が行われています。「市内だからいつでも行ける」と思い、実はまだ一度も入ったことがない。そんなことはありませんか？でしたら、この機会をぜひご利用ください。

◎前回の答え（5/1）と当選者

問1-②70 問2-③小学校6学年修了前まで
問3-②奥様

正解総数20通(応募総数20通)の中から抽選で、北澤直子さん(権現町2)、宮沢一夫さん(川岸上4)、湯澤直人さん(権現町4)、戸谷綾子さん(川岸東1)、小熊ひとみさん(出早3)にオリジナルスプーンをお送りします。

**あなたに
挑戦!**
No.247
広報クイズ

問1 7月に行われる岡谷市制施行70周年記念イベントへの申し込みはこれで。

答え ①往復はがき ②FAX
③E-mail

問2 6月より一般家庭の〇〇〇リサイクル事業がスタートしました。

答え ①可燃物 ②生ごみ
③不燃物

問3 岡谷市民限定でここが入園無料に。

答え ①ロマネット
②東京ディズニーランド
③群馬サファリパーク

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ひと言を書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)》までお送りください。抽選で5名の方に武井武雄ラムラム王オリジナルスプーンをお送りします。6月20日の消印まで有効。(ひと言は15日号みんなの声」に掲載させていただく場合があります)

出しなどの訓練をしているそうです。学園スペースでは、精密部品の梱包やアルミ缶リサイクル、アクセサリ制作などが行われ、授産品の販売もしています。それぞれが自分の得意分野で仕事をこなして、働けることが楽しくて仕方がない様子。元々手を抜かず几帳面な気質を持つ方も多く、少し支援することにより驚くほど丁寧な仕事ができるそうです。依頼があれば、支援スタッフと共に出張し、掃除や庭木の手入れ等もできるとのこと。ぜひ声をかけてください。



私も看板デザインのお手伝いをしました。

アクセサリ制作中…



施設長の馬場さんに伺うと、障害者だからと甘えることなく、自分たちで身だしなみをチェックし、挨拶の声をしてくれました。とで、理解や交流を深めつつ開かれた場にしたと、併設のおちゃ&キッチン「ひめりんご」の店内は明るく、気軽に入れる雰囲気。支援スタッフと共に元気良く接客をしてきました。

市民しポーター だより

小平 陽子さんの
おちゃ&キッチン
ひめりんごレポート

障害者・高齢者などハンディがある方が地域で暮らし活動できるように整えられていくことが、成熟した社会の本来あるべき姿です。知的障害者の方たちの就労支援の場が欲しいという家族の方々の熱心な活動が実を結び、この4月からジャスコ諏訪店の隣に開園した「第2この街学園」。岡谷市からは3人の通所者がいます。地域の中で暮らし働き姿を見てもらうことで、理解や交流を深めつつ開かれた場にしたと、併設のおちゃ&キッチン「ひめりんご」の店内は明るく、気軽に入れる雰囲気。支援スタッフと共に元気良く接客をしてきました。

香りの良い
ハーブティー



ヘルシーでおいしい
ピタパンランチ、日替わりランチ
手作りスイーツもおすすです。

ヤングナウ YOUNG NOW

No.194

みんなの

一品料理を紹介していた
ナップ写真、また身近な
企画



「たくさんの人とふれあいたい」

おおきま りこ
大脇 真理子 さん
(長地片間1)

八十二銀行岡谷東支店にお勤めの大脇真理子さん。
Q お仕事を選んだきっかけは？
 「たくさんの人とふれあえる仕事はなんだろう？」と考えたとき、思いついたのが銀行でした。
Q やりがいは？
 「ありがと」と笑顔で帰って行くお客さまを見るとき、この仕事を選んでよかったと思います。
Q 大変な事は？
 同じ対応をしても、お客さまによって感じ方が様々なことを求めているのかを見極めて、一人ひとりにあった接し方を考えていくこと

とが大変です。
Q 休日は何をしてる？
 特にコレといったことはありませんが、今は、趣味を増やせるようにいろいろなことに挑戦中です。その中でも、ゴルフとフラワーアレンジメントに力をいれています。
Q 今の岡谷市に欲しいものは？
 屋外で人の集まる場所があればいいなと思います。例えば、お弁当を食べたりできる公園があるといいですね。

ホームステイ

みなさんは今年のゴールデンウィークを楽しく過したでしょうか？

私は4月29日から5月5日まで、通訳としてカラ少年少女合唱団のみなさんと一緒に、海外姉妹都市の米国ミシガン州マウント・プレザント市に行ってきました。地元の高校生とジョイントコンサートをしたり、中学校・老人ホーム・教会などで歌を披露しました。世界の音楽を通じて言葉を越えた交流を体験し、参加したみなさんにとって、一生忘れられない思い出になりました。

このような文化事業に欠かせないのがホームステイです。マウント・プレザントに滞在中、子どもたちもホームステイをしました。出発する前には、「俺の英語力で大丈夫か」など心配な声がたくさんありましたが、日が経つにつれてこの不安が段々喜びと楽しみに変わり、

お別れのときに泣く人が多かったです。受入家庭はさまざままで、子どもが10人いる家族、友人と同居しているところなど、その中でも、まだ20代の若い家庭での受入が多かったです。言葉の壁や家庭状況を問わず、合唱団のみなさんを受入れてくれたマウント・プレザントの家庭のみなさんには感謝しています。お互いの文化を知り世界も見ることができ、教科書に書いてある外国の言葉や習慣に直接触れ両市民にとって貴重な経験でした。

みなさんにもこの夏、そんな経験をしていただくチャンスがあります。マウント・プレザント市から11名の高校生が、8月1日から8月15日まで岡谷市を訪れます。その生徒たちを受入れていただくことで、文化、言葉、考え方などの交流をしていただけます。原則として15日間の受入をお願いしますが、希望日数に応じた受入も可能ですので、

岡谷市国際交流協会(☎24-3226)までお気軽にお問い合わせ



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.20